

2025 家族でかくにん!

# わが家の ぼうさいコンテスト

## 入賞作品集



もしものときに備え、家族で話し合おう！

主催／ふくいの水防災を考える会

（福井河川国道事務所、福井地方気象台、福井県、福井市、小浜市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、若狭町）

共催／福井新聞社 NHK福井放送局 後援／福井県教育委員会 福井県防災士会

特別協賛／JA共済連 福井 協賛／近畿建設協会 損保協会北陸支部福井損保会 協力／ミドリ防災

ほん とう ごく ど こう つしう たす ぼう おい い し き しゃ か い お い こ う ち く もと く ず りゅう が わ ま た が だ い き ほ は は ん ら ん び ん お い き う ぎ か い と く せ き く  
本コンテスト等は、国土交通省の「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づき、九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会において取り組む施策としています。



JA共済も地域貢献活動の一環として、「わが家のぼうさいコンテスト」を応援しています。

# もくじ

## 2025 家族でかくにん！わが家のぼうさいコンテスト 入賞者一覧

### 2 入賞者一覧



敦賀市立中央小学校4年  
上野 乃花さん

### 3 審査委員名列 審査講評

福井工業大学  
工学部建築土木工学科教授 竹田 周平氏



福井市木田小学校6年  
亀井 義仁さん

福井市明新小学校4年  
村中 杏朱さん

### 5 最優秀賞 作品紹介

敦賀市立中央小学校4年 上野 乃花さん



越前市味真野小学校4年  
光川 琉生さん



坂井市雄島小学校6年  
橋本 かなかさん

### 7 優秀賞 作品紹介

福井市木田小学校6年 亀井 義仁さん



越前市吉野小学校6年  
間 美貴さん



福井市木田小学校4年  
亀井 義正さん

福井市順化小学校4年  
藤本 ちなみさん

### 8 優秀賞 作品紹介

福井市明新小学校4年 村中 杏朱さん

福井市河合小学校6年  
加納 真菜さん

福井市明新小学校4年  
大川 はなさん

### 9 JA共済連福井本部長賞 作品紹介

越前市味真野小学校4年 光川 琉生さん

福井市明新小学校4年  
奥山 結月さん

福井市立待小学校5年  
宮永 明香里さん

### 10 NHK福井放送局長賞 作品紹介

坂井市雄島小学校6年 橋本 かなかさん



福井市日之出小学校4年  
櫻井 新之助さん

福井市明新小学校4年  
嶋橋 理沙さん

### 11 福井新聞社長賞 作品紹介

越前市吉野小学校6年 間 美貴さん

福井市明新小学校4年  
榮 美結さん

福井市明新小学校4年  
渡邊 明日哉さん

### 12 入選作品の紹介

### 18 奨励賞作品の紹介

福井市明新小学校4年  
西澤 周平さん

福井市文殊小学校4年  
山口 祈和さん

坂井市雄島小学校5年  
伊野 鳩馬さん

福井市片上小学校6年  
三ツ山 泰生さん

鯖江市立待小学校5年  
駒野 蒼空さん

越前町宮崎小学校6年  
多田 龍駆さん

越前町宮崎小学校6年  
井美 岳大さん

敦賀市敦賀南小学校5年  
小森 実菜さん

小浜市今富小学校6年  
植村 果朋さん

## 審査委員名列

審査委員長	竹田 周平氏	福井工業大学工学部建築土木工学科教授
審査委員	野村 文彦氏	国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所長
	木下 信好氏	気象庁福井地方気象台長
	三田村 佳紀氏	福井県土木部副部長
	中村 博司氏	池田町総務財政課参事
	山田 隆史氏	NHK福井放送局長
	岡本 寛紀氏	JA共済連福井本部長
	山本 道隆氏	福井新聞社常務取締役営業本部長



2025 家族でかくにん！

## わが家のぼうさいコンテスト

### 入賞作品集



表彰式で竹田審査委員長（左）から賞状を受け取る、最優秀賞の上野乃花さん  
=2025年10月25日、福井新聞社・風の森ホール



引き締まった表情で表彰式に臨む児童ら



入選に輝いた児童たち



奨励賞を受賞した児童たち



入賞の力作を並べた作品展

## 審査講評



〈審査委員長〉 竹田 周平氏

「わが家の防災コンテスト」は、21年前に発生した福井豪雨の記憶と教訓を伝え、児童とその家族の視点で、防災の大切さを啓発することを目的とし、今回で12回目を迎えることができました。また「わが町の防災コンテスト」は、地域や地区の防災や減災に関する活動や事例を共有することで、さらなる地域防災力の向上を図ることを目的に、今回で7回目の開催となりました。令和7年度の応募について、「わが家」では187件(応募の学校数は19校)と多くの応募がありました。また、「わが町」では8団体の応募がありました。

審査において、「わが家」では△災害前の対応△発災時に何をすべきか△地域や地区の避難場所、危険箇所などの調査△地区の避難訓練への参加△実際に取り組んで分かったこと一が表現されているかを中心に審査しました。また「わが町」では、地域で取り組んでいる防災活動の中で地域の特性を踏まえた取り組みなのか、防災活動では大切な継続性があるのか、などに着目して審査を行いました。

今年度の講評として、「わが家」では実効性が期待される取り組みが多く確認されました。中には、ご近所の障害のある住民の避難課題を調査し家族ができるることを考えるなど共助の在り方をまとめた作品、前年度に作成した我

が家の防災マップの情報を更新した作品、自宅近くの避難所の収容人数と地区の人口を比較して課題を明らかにした作品など、質の高い取り組みや素晴らしいアイデアが含まれていました。さらに、人工知能技術を利用した新しい調査に挑戦するなど、県内の防災力を向上させるための取り組みが認められたことは喜ばしいことです。コンテストの重要性を改めて認識しました。

「わが町」で評価された作品は、重要な課題でもある要配慮者とともにを行う継続的な防災活動や、新しいシステムを取り入れた防災活動などです。地域や地区の特性を踏まえた防災活動が毎年積み上げられ、防災・減災力が高まっていることが認められました。

「わが家」「わが町」の防災活動は、定期的に新しい情報や知見、活動に基づき改善することが大切です。今回の作品集は、素晴らしいアイデアや有益な実例が含まれています。この成果を参考に、応募されたご家族や地域の団体のみならず、今回応募に至っていない方々にも有益な情報、資料になるものと自負しておりますし、福井の防災・減災力の発展、さらなる広がりを大いに期待しております。

むすびに、このコンテストに応募された皆さん、コンテストを開催し運営を頂きました、ふくいの水防災を考える会の関係各位に敬意を表し、このコンテストの益々の発展を祈念いたします。



敦賀市立中央小学校4年  
上野 乃花さん



## 受賞者コメント

私の住む区では、9月末に震度5以上の地震が発生したとの想定で自主防災訓練が行われました。町内に訓練実施のアナウンスがされた後、各世帯で安否シートを玄関に表示しました。自衛消防隊が、区の総数438軒の安否をチェックし、確認できたのが410軒、不在は28軒という結果でした。安否シートが見えにくい場所に置かれたり、風で飛ばされたり、改善ポイントも見つかりました。

わが家の防災計画を作成するにあたり、近所に住む金生さんに取材しました。金生さんは目の不自由な方で、点字セットをプレゼントしてもらいました。家族みんなで点字を打って勉強しています。突然おそってくる災害に備えて、常日頃から地域のみなさんと助け合える信頼関係を築いていきたいです。

賞を頂き、防災士会に入会しておられる大好きな担任の川北あゆみ先生がおめでとう！と言つてくれて、手作りの表彰状をくれたことがとてもうれしかったです。

Q 講評 〈審査委員長〉 福井工業大学工学部建築土木工学科教授 竹田 周平氏

自宅周辺の要配慮者の避難支援に着目しております。その要配慮者の避難における課題を家族で考えてアイデアを抽出し、家族ができる事を丁寧に具体化している点が素晴らしい。また、町内の消火栓の調査や避難用のマイボトルの具体例を紹介するなど良いアイデアが含まれていること、そして分かりやすく美しい作品となっています。ご近所と助け合える関係性をつくる強いメッセージが高く評価されました。



福井市木田小学校6年

亀井 義仁さん

Q 講評（審査委員長）

前年度に作成した防災マップを調査した結果から今年度版に見直した取り組みが素晴らしい。また、地区的防災訓練に参加し、非常持出袋を持って避難を体験したこと、さらには実際に備蓄された防災食の試食や日用品を使用しての具体的な調理方法を整理するなど、分かりやすく作成している点が評価されました。ここでのアイデアは他の参考になるため有益な作品となっています。



受賞者コメント



ぼくが防災マップを作ったのは二回目です。去年は防災グッズについてまとめたので、今年はちがうことを調べようと思いました。まず、一年間で発見したことを入れて防災マップの見直しをしました。一番大きく変わったのは、結こん式場をひ難所として利用できるようになつたことです。地区のお店が防災に協力してくれてうれしかったです。

次に、ひ難情報や、災害が起こつた時の行動をまとめました。防災グッズを備えるだけじゃ

なくて、災害が起きた時にどうするかを家族と相談しておくことも大事だと思いました。

それから、一年でたくさんの体験をしたので「ぼくの防災2025年」として、しょうかいしました。実はカイロでゆで卵をつくる実験が一番大変でした。火や電気なしで食べ物を温めるのは難しいことが分かりました。

二年間防災マップを作つてみて、情報は変わつていくから自分で調べてアップデートしていくといけないと感じました。



福井市明新小学校4年

村中 杏朱さん

Q 講評（審査委員長）

自宅周辺のハザードマップを調査し「地区の人口」と「避難所の数や収容人数」との課題を明らかにしたこと、また避難所は災害によって違うことを分かりやすく整理している点が素晴らしい。そして、住宅の2階以上の垂直避難の可能性に言及したこと、AIを利用して避難時のQ&Aを作成したこと、わが家のタイムラインを作成したことなど良いアイデアが含まれている点が高く評価されました。



受賞者コメント



最近、日本のいろいろな所で台風や大雨によって川の水が増えたり、ついぼうが決壊したりして水害が起きています。私が住んでいる明新地区には九頭竜川が流れています。もし、この川も大雨で決壊してしまつたら、この地区にはどのような被害が起つるかを考えました。

工夫した所は、避難時にどのように行動すればよいかをAIに質問をして、誰でも簡単に樂しく知ることができるようにクイズ形式にしたところです。また、AIに聞いたことで自分が予想していなかつた答えが出てきて勉強になりました。

実際に水害が起きた時の明新地区について調べてみると、住んでいる人の数は1万5653人もいるのに対して、洪水が起きた時に開く避難所は2カ所しかないことが分かりました。多くの人が集まると、本当に避難できるのでしょうか？これを解決するには、親せきの家やホテル、立体駐車場等に早めに分散して避難することが大切だと思いました。今回調べて学んだことを生かして、もしもの時のそなえをしっかりとしていきたいです。



越前市味真野小学校4年

光川 瑞生さん

Q 講評（審査委員）

防災の情報が整理されていて、とても読みやすい点が印象的です。特に地震や火災時の行動について具体的なイラストを用いて説明している点が、見る人にとって理解しやすい内容となっています。色使いやレイアウトにも工夫があり、一目で重要なポイントが分かるようになっています。「地震!!クイズ」も見る人の興味を引き立てるものとなっており、仕組み作りが素晴らしいかったです。



受賞者コメント



ぼくは、のと半島地震で福井県も強くゆれてこわい思いをしました。それから防災にきょうみをもち、はじめて地震がおきた時のたいさくについて調べることにしました。

工夫した所は、妹たちが見てもわかりやすいマップにしたことです。そのために文字を目立たせて大事な所をわかりやすいようにしました。イラストを使うことによって、何を準備していいのか一目でわかるようにしました。

これを始める前に、防災のことをパパとたくさん

調べました。そこから必要なことだけを選び、まとめることが大変でした。けれど、パパと、もしもの時の決め事をしておくことで、すぐどうしたらいいかわかるようになりました。

ふだん、なにげなくご飯を食べていたけれど、調べていくうちに水や食料の大切さを知ることができました。

ぼくは妹たちにも防災の大切さを知つてもらうために、日ごろから、地震がおきた時のたいさくを教えていきたいです。



坂井市雄島小学校6年  
橋本 かなかさん

Q 講評（審査委員）

カラフルな仕上がりが目を引き、読んでみようという気持ちになります。家から避難所までの避難マップは大変分かりやすく、海拔表記が海に近い場所であることを印象付け、津波に対する注意を呼び起こします。防災バッグに入れる物資の紹介にとどまらず、その用途まで記載し、そろえる際のちょっとした豆知識も良いです。このマップを読んだ人はマイ防災バッグを作りたくなるでしょう。



※作者の意向により一部を加工しています。

受賞者コメント



昨年の夏、能登半島地震で被災した方から話を聞く機会がありました。地震直後の避難の様子や、避難所での生活の状況など貴重な話を聞きました。その中で印象に残ったことは、事前に家族と避難ルートについて話し合っていないことや、避難所で様々な物資が足りなくて苦労していることです。

これをきっかけに、私は家族と、家から避難所までのルートを確認したり、防災バッグを作りました。私の家は海に近いので、海拔を

意識してなるべく高台に向かうルートを考え、防災バッグに入れる衣類などは水に濡れないようジップ袋に入れてから詰め込むなど、家族と一緒に話し合いながら作りました。

地震のみではなく、最近は異常気象による大雨の災害も増えています。自然災害をゼロにすることはできませんが、この作品で防災意識をもってもらい、少しでも被害を抑える手助けになれたらうれしいです。



福井新聞  
社長賞

越前市吉野小学校6年

間 美貴さん

Q 講評（審査委員）

夏と冬の季節ごとの災害対策や、冬の自宅周辺の危険箇所マップ、避難ルートの確認などを具体的にまとめている点が優れています。地震発生時の行動や備蓄品、そして非常食を活用したレシピの紹介など、多角的な視点から防災への意識を高める工夫が凝らされており、実用性とオリジナリティを兼ね備えた力作です。原子力災害時の行動を取材した点も福井県ならではのポイントです。



受賞者コメント

昨年の能登半島地震のように、地震はいつどこで起きるか分からないので、日ごろの備えが重要です。私は夏と冬の防災対策の違いに着目して、備えや行動についてまとめました。

実際に避難ルートを歩くと、雪に埋もれた一時避難場所や滑りやすい雪道など、冬の避難は問題点が多く、大変だと分かりました。

避難のため、確かな行動のためという三本柱で考えました。夏の暑さ、冬の寒さへの対策を調べたり、防災訓練で学んだことをまとめたりしました。災害時のストレスにも強い体づくりのための防災レシピは、楽しく続けられる防災の取り組みだと考えます。

また、防災を学ぶ中で、地震による原子力災害も知り、その備えも必要だと思いました。



福井市木田小学校4年  
亀井 義正さん

Q 講評（審査委員）

防災すごろくを作成するなど、遊びを通して災害に備えるのはユニークかつ、他の子どもたちを巻き込んで防災意識を高めることができます取り組みだと感じます。楽しみながら主体的に防災に取り組む様子が写真の表情からも伝わってきます。



福井市順化小学校4年  
藤本 ちなみさん

Q 講評（審査委員）

避難訓練に参加することで確認した、家族それぞれの行動計画がタイムライン形式でうまく整理されています。避難訓練で外国人が多いことに気づき、よく使う言葉をまとめた点は、地域の特性を理解した素晴らしい取り組みだと感じます。



入選

福井市西藤島小学校4年  
伊藤 翔さん

Q 講評 (審査委員)

ご自身の暮らす地域で起きた災害を調べ、実際に避難経路の危険箇所を確認し、それを踏まえて避難行動計画を考えています。クラゲを模した氷のうを作成するなど、ユーモアの光る防災グッズで避難生活が明るくなりそうです。



入選

福井市明新小学校4年  
大川 はなさん

Q 講評 (審査委員)

家の周りの危険な箇所をハザードマップなどによって整理し、災害時の行動をご家族での約束事として決めてある点がとても良く安心感がありました。また、自宅避難における備蓄品や、ガス・上下水などが使えない場合の対応についても、細かく整理されていて良かったと思います。



入選

福井市河合小学校6年  
加納 真菜さん

Q 講評 (審査委員)

マイ・タイムラインでは、警戒レベルに応じた行動が分かりやすく整理され、特に服装についてはイラスト付きで視覚的に理解しやすい点が印象的でした。また、防災バッグに常備している物や不足している物も、チェックしやすく整理されていて良かったと思います。

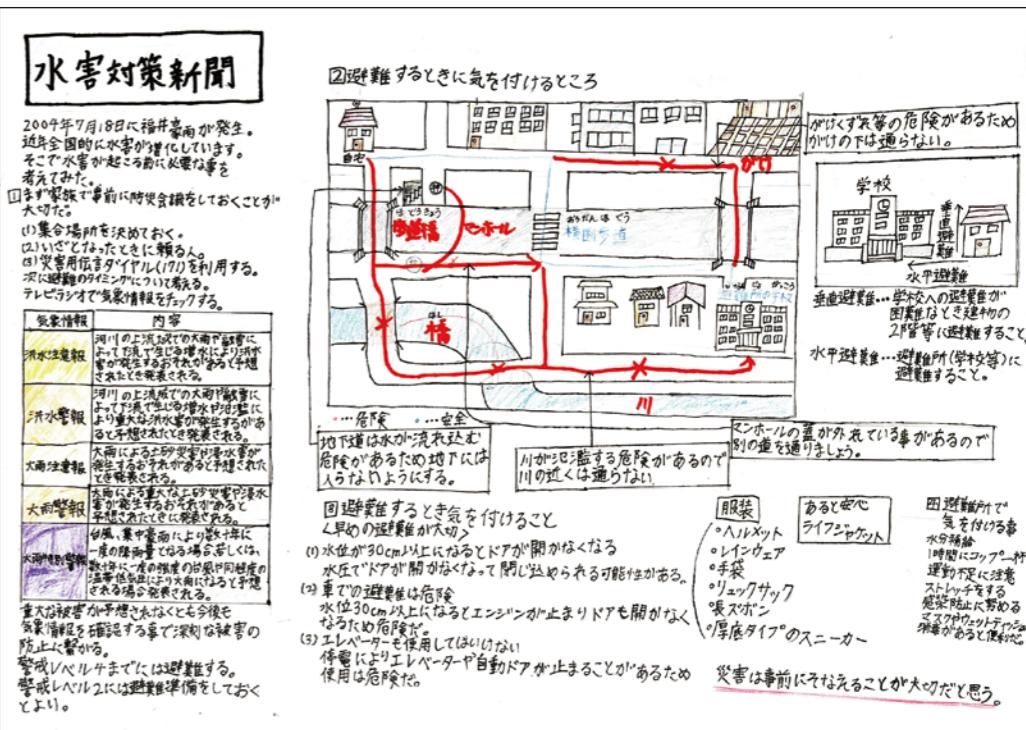


入選

福井市明新小学校4年  
南 奏向さん

Q 講評 (審査委員)

自宅から避難場所までの危険な場所を把握し安全なルートが分かりやすく示されており、また避難時や避難場所で気を付けることも整理されていて良かったと思います。今後もご家族で防災会議を開き、災害への備えについて話し合っていただきたいと思います。

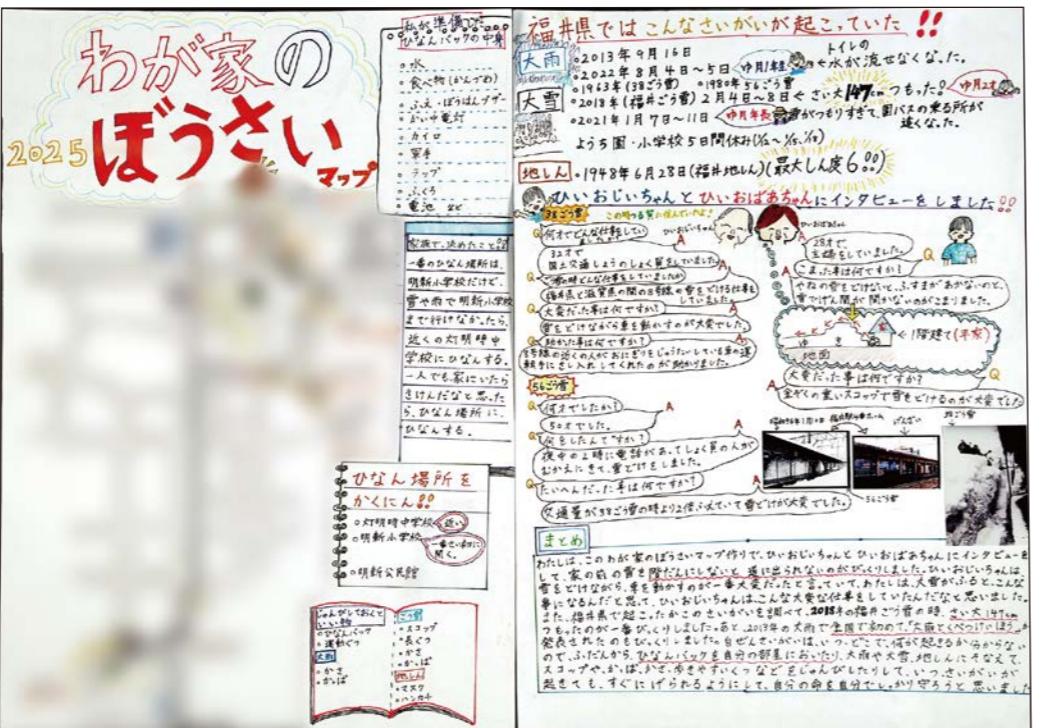


入選

福井市明新小学校4年  
奥山 結月さん

Q 講評 (審査委員)

過去の災害を調べることや、災害を経験した人に当時の話を聞くことは新たな気づきを与えてくれます。防災マップには避難する際に自宅周辺の危険な場所と合わせて注意点も記載されており、災害時の避難に役立つ情報が整理された作品です。



※作者の意向により一部を加工しています。

入選

鯖江市立待小学校5年  
宮永 明香里さん

Q 講評 (審査委員)

避難するタイミングや避難所までの時間、避難が遅れた場合の行動も考え、水害から命を守る気持ちが感じられる作品です。災害時の備蓄品についても、理由を含めて細かに調べ、消費期限が一目で分かるようにアルバム化した工夫も良かったです。



※作者の意向により一部を加工しています。

入選

坂井市三国北小学校6年  
矢吹 利奈さん

Q 講評 (審査委員)

避難所がどんな所にあるのか、避難する時どんな危険があるのか、写真も合わせて分かりやすくまとめられています。災害状況によって避難ルートや避難所が異なるなど、色々な気づきが得られた防災マップとなっており、災害時に役立つ作品です。

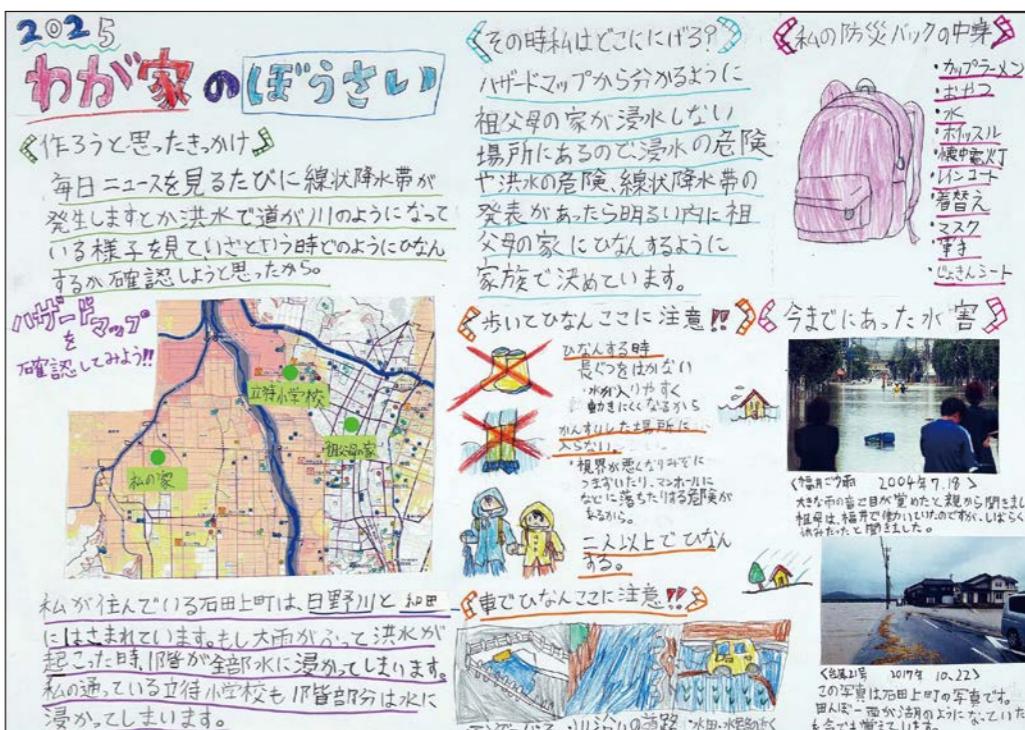


入選

鯖江市立待小学校5年  
西澤 風羽さん

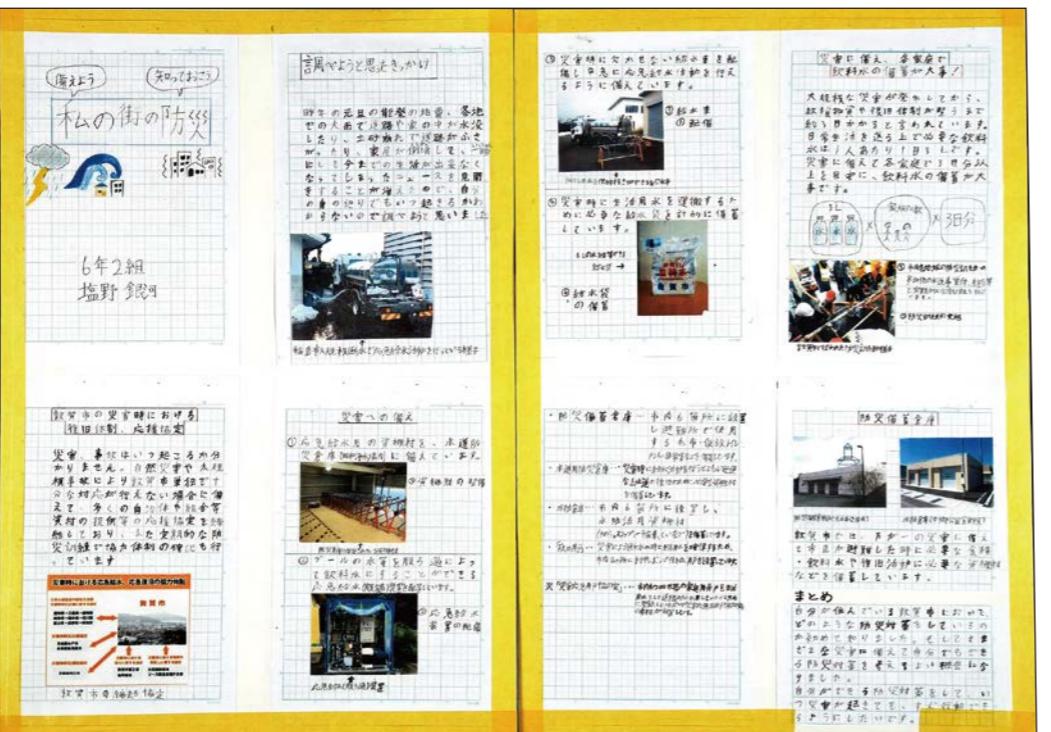
Q 講評 (審査委員)

ハザードマップを活用して地形や河川位置（洪水時の危険区域）を再確認し、対策をまとめている点が素晴らしいです。避難先や避難時の注意点を家族みんなで話し合って考えている点は、いざという時に家族共通の情報・認識として役立つと考えます。





敦賀市中央小学校3年  
塩野 銀河さん



Q 講評 (審査委員)

地域や自治体にある備蓄品や物資の確保状況を事前に把握した上で、各家庭では何が必要かを考える参考になります。災害時は、まず各家庭にある物資を頼ることになるため、この発表をみんなに伝え、備えある災害に強い地域につなげてほしいです。



福井市日之出小学校4年  
櫻井 新之助さん



福井市明新小学校4年  
嶋橋 理沙さん



福井市明新小学校4年  
奥平 望瑛さん



福井市明新小学校4年  
長谷川 纏さん



福井市明新小学校4年  
榮 美結さん





福井市明新小学校4年  
渡邊 明日哉さん



福井市明新小学校4年  
西澤 周平さん



坂井市三国西小学校5年  
浅田 蘭さん



鯖江市片上小学校6年  
三ツ山 泰生さん



※作者の意向により一部を加工しています。



福井市文殊小学校4年  
木村 悠乃さん



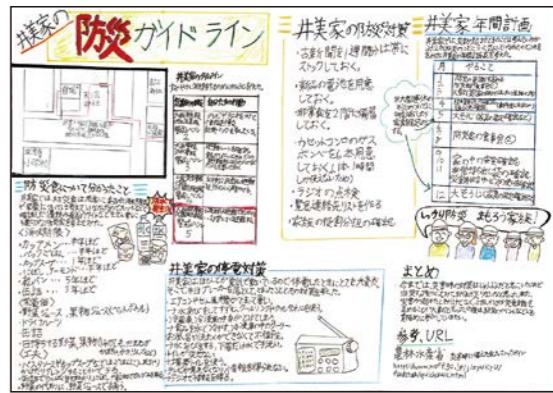
永平寺町上志比小学校5年  
山口 祈和さん



鯖江市立待小学校5年  
駒野 蒼空さん



鯖江市立待小学校6年  
井美 岳大さん



坂井市雄島小学校5年  
伊野 鳩馬さん



越前町宮崎小学校6年  
多田 龍駆さん





越前町宮崎小学校6年  
奨励賞



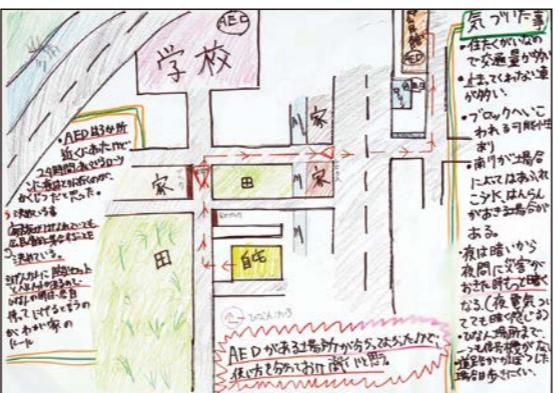
越前町宮崎小学校6年  
川室 勇咲さん  
奨励賞



敦賀市敦賀南小学校5年  
奨励賞  
小森 実菜さん



小浜市今富小学校6年  
植村 果朋さん  
奨励賞



主催／ふくいの水防災を考える会

(福井河川国道事務所、福井地方気象台、福井県、福井市、小浜市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、若狭町)

共催／福井新聞社 NHK福井放送局 後援／福井県教育委員会 福井県防災士会

特別協賛／JA共済連 福井 協賛／近畿建設協会 損保協会北陸支部福井損保会 協力／ミドリ防災

## 防災出前授業やってます！

国土交通省福井河川国道事務所 ☎0776-35-2661  
福井県砂防防災課 ☎0776-20-0494

全国各地で大きな自然災害が起きている中、災害の怖さを知り、十分な備えをすることはとても重要です。ふくいの水防災を考える会は、さまざまな災害にどう備えるべきか、分かりやすくまとめた防災補助教材「災害から命を守る みんなに知ってほしいこと」を作り、ご希望の方に配布しています。

また、国土交通省や福井県では小学校へ出向いての防災出前講座を行っていますので、ご希望があればご相談ください。